平成 29 年度の法人の経営状況 (総括表)

1. 法人単位の資金収支の状況

法人単位の貧金収支の状況	
項目	金額(千円)
(1)事業活動資金収支差額	6,169
①事業活動収入	157,913
・介護報酬等の公費(※)	150,822
利用者負担金(※)	1,599
・その他収入	5,492
②事業活動支出	151,744
-人件費支出	104,522
•事業費支出	27,220
•利用者負担軽減額	0
・その他支出	20,002
(2)施設整備等資金収支差額	▲ 3,791
①施設整備等収入	200
・施設整備補助金等の公費	0
・その他収入	200
②施設整備等支出	3,991
(3)その他の活動資金収支差額	2,092
①その他の活動収入	4,623
②その他の活動支出	2,531
当期末資金収支差額	4,470
前期末支払資金残高	37,391
当期末支払資金残高	41,861

- (※)医療事業収入分を除く。(社会福祉法人新会計基準の勘定科目上、算出できないため。)
- (※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

2. 法人単位の事業活動の状況

۷.	<u> </u>	
	項目	金額(千円)
	(1)サービス活動増減差額	▲ 6,723
	①サービス活動収益	155,877
	②サービス活動費用	162,600
	減価償却費	11,630
	国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 4,987
	その他サービス活動費用	155,957
	(2)サービス活動外増減差額	528
	①サービス活動外収益	2,036
	②サービス活動外費用	1,508
	(3)特別増減差額	704
	①特別収益	1,712
	②特別費用	1,008
	当期活動増減差額	▲ 5,491
	前期繰越活動増減差額	81,296
	当期末繰越活動増減差額	75,805
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	3,210
	その他の積立金積立額	1,300
	次期繰越活動増減差額	77,715
	(※) 端数処理の関係で合計が一致しないこと	まあり得る。

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

3. 法人単位の資産等の状況

┙.	· AMPENALTON	
	項目	金額(千円)
	(1)資産の部	353,822
	①流動資産	46,039
	②固定資産	307,783
	(2)負債の部	11,260
	①流動負債	9,578
	②固定負債	1,622
	(3)純資産の部	342,622
	減価償却累計額	187,681,099

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

4. 積立金の状況

貸借対照表上の 積立金の勘定科 目	積立目的	本年度末時 点の積立金 額(千円)	積立計 画の有 無	積立目標額 (千円)	施設整備の場合			
					整備事由	整備時期	整備対象施設名	
人件費積立金	将来不足する人件費に備えて	27,422						
施設•整備等積立金	施設の設備整備に充てるため	36,585						
記念事業積立金	(法人本部)周年事業費用として	700						
退職餞別金積立金	(法人本部)職員退職時の餞別金として	2,319						
修繕積立金	(法人本部)施設の修繕費用に充てるため	25,200			大規模修繕	H28~	わたらせ養護園	

5. 関連当事者との取引の内容

	法人等の名称	住所	資産総額(千円)	尹未の四台	議決権の 所有割合	関係に	内容	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残
種類						役員等の兼務 等	事業上の関 係				高(千 円)

6. 地域の福祉ニーズへの対応状況

	事業概要		実施の有無	事業開始年度	本年度支出額(千円)
1 介護保険、障害福祉サー	ービス等における低所得者の利用者負担減免				
2 地域の単身高齢者等を	対象とした見守り・配食サービス等の実施				
3 地域の単身高齢者等を	対象とした各種相談事業の実施				
4 災害時における各種支	援活動の実施		0	2015年度	
5 貧困・生活困窮者等を対象とした住宅の斡旋、食事提供等の生活支援の実施					
6 他法人との連携による	人材育成事業				
7 その他 (青少年団体への施設開放)	0	1966年度	
7 その他 (地域で障害児をかかえる保護者への家庭支援)	0	2006年度	

(注)「本年度支出額」については、当該事業に対する費用として、明確に算定出来る場合に限り記載しており、明確に算定出来ない場合は「一」を記載している。